



ホームページURL : <https://www.yachiyo.ed.jp/emurahiga/>

今年度のESDの重点目標（取組）

○生活科・総合的な学習の時間を軸とし、情報活用能力やESDの視点を盛り込んだ単元配列表を見直し、活用していく。

○地域と連携を図りながら、自然や社会に貢献しようとする児童を育てる。

【令和5年度 ESD 実践報告】

1 わたしの町はっけん（2年・生活科）



9月から11月にかけて、学区内にある公園を探検した。初めはどのような公園があるか、どのような遊具があるかといったモノへの気付きから、それをどう使って遊ぶかといったコトへの気付きに発展していった（写真1）。タブレット・PCを効果的に使いながら自分たちが考えた遊びを友達だけでなく、公園を管理している公園緑地課の人や自治会の人にも伝達する中で、支えてくれているヒトの存在にも気付くことができた（写真2・3）。こうした探究活動が、「コミュニケーションを行う力」「他者と協力する態度」「つながりを尊重する態度」の形成へとつな



がっていき、いずれ「連携性」につながっていくだろう。さらに、放課後にも、公園で様々な遊びを試してみても報告する姿がみられるなど、自分の生活を豊かにしていくことにつながった。



2 団地 de 収穫祭（5, 6年・ブラスバンド部）



地域で行われた祭りにブラスバンド部の児童が参加し、これまでの練習の成果を発表した。地域の人々が協力して祭りを盛り上げる姿を目の前にし、そして自らも地域の発展のために祭りに参加したことで、「他者と協力する態度」や「つながりを尊重する態度」が見られた。これは上述同様、「連携性」につながっていくと考える。